

## 【研究発表】

### *De Profundis* と Robert Ross——ワイルド死後の優越をめぐる

諏訪 友亮

*De Profundis* は従来、Rupert Hart-Davis 編 *The Complete Letters of Oscar Wilde* の出版によって Lord Alfred Douglas へ向けた書簡と見なされる傾向が定着したものの、近年は Ian Small や Nicholas Frankel らの議論を経て創作作品という側面が強調されるに至っている。それに従い、生前のワイルドが原稿について話し合った形跡のある Robert Ross (1869–1918) によって編集された *De Profundis* (1905) は、完全版の書簡とは別の価値を帯びるようになった。そうなれば必然的に、*De Profundis* の編集方針に深く関与している Ross の役割にも新たに注目せざるを得ないだろう。

本発表では、*De Profundis* のほか全集の刊行などによって、ワイルド再評価に道筋をつけた Ross に改めて焦点を当て、*De Profundis* の編集の背後にある意図を読み解きつつ、自身も同性愛者であった Ross が、ワイルドの死後に築こうとした地位について考えてみたい。また、可能であれば、ワイルドや Ross の周辺に形成されていた同性愛サークルにも言及しつつ、そうしたサークル内での Ross の立場を補助線にしながらか検討していきたい。